NISSAN 愛媛日産ニュースリリース NEWS

2026/9/17 第 52 号

愛媛日産の EV 資源循環の取り組みが日本経済新聞に掲載されました

愛媛で動き出す EV リサイクル　EV バッテリー再利用ハブ構築に向けた挑戦

愛媛日産自動車株式会社が推進する EV バッテリー集荷・再利用ハブ構築の取り組みが、このたび日本経済新聞に掲載されました。

記事では、「愛媛で動き出す EV リサイクル」と題し、愛媛県内で進む EV 資源循環の先進的な取り組みとして、愛媛日産が松山インター店に整備する EV バッテリー集荷・再利用ハブ拠点が紹介されました。

EV の普及拡大に伴い、将来的に増加する使用済みバッテリーの有効活用が大きな社会課題となっています。愛媛日産は、愛媛県が推進する「えひめ EV サーキュラーエコノミー推進協議会」に参画し、EV を販売して終わりではなく、使用後のバッテリーを再利用・リサイクルへつなげる「地域完結型 EV 資源循環モデル」の実現に取り組んでいます。

その中核となるのが、松山インター店に整備する EV バッテリー集荷・再利用ハブ拠点です。本ハブ拠点では、使用済み EV の集荷からバッテリーの取り外し、性能評価、再利用事業者への供給までを担います。

EV 認定整備士がバッテリーを安全に分離し、モジュール単位で分解。性能診断・グレーディングを実施し、再利用可能なバッテリーを新たな用途へ供給する仕組みを構築します。

また、本事業では株式会社 MobiSavi と連携し、バッテリー性能の可視化や性能予測技術を活用。さらに LBEJ 認証を活用した性能評価スキームの実証を進め、再利用バッテリーの信頼性向上と安定供給を目指します。

これまで使用済み EV バッテリーは、回収や流通の仕組みが限定的で、再利用市場への安定供給が課題となっていました。愛媛日産は、自動車ディーラーとして培ってきた車両取り扱いの知見や整備ネットワークを活かし、使用済みバッテリーを「資源」として次の活用先へつなぐ役割を担います。

愛媛日産は EV を活用した地域課題解決や脱炭素社会の実現に向けた新たな挑戦を続けていきます。

